

令和7年 第4回 定例会

一般質問通告書

R7年 11月 13日提出

加須市議会議員 関口 孝夫 様

次のとおり通告します。

通告番号
(発言順序)

8

議席番号 7番 氏名 栗原智之

番号	質問事項 (必要に応じて細目に分ける)	質問要旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
1	加須市におけるヤングケアラーの早期発見と包括的支援の推進について 1). 早期発見（スクリーニング）と実態把握の現状について	加須市内の小中学校において、ヤングケアラーに関する項目を盛り込んだアンケート（生活アンケート等）を定期的実施しているか、また、その実施状況と把握件数について伺います。	こども局長
		本市において、ヤングケアラーの支援が必要と思われる事例について、これまでに何件程度把握し、どのような支援を行ってきたか、具体的な件数（年間実績など）と支援の内容を伺います。	こども局長
	2). 関係機関との連携体制について	本市における要保護児童対策地域協議会（要対協）の開催頻度と、構成機関の現状について伺います。また、要対協において、ヤングケアラー支援の情報共有を積極的に行っているのか伺います。	こども局長
	3). 支援の質の向上と多分野連携の強化について	医療や介護などの他分野の専門職（ケアマネジャーや訪問看護師等）研修会や多職種連携会議を計画しているか、具体的な啓発策について伺います。	こども局長
	4). 社会資源の確保と持続可能な支援体制の構築	支援の必要性が高いにもかかわらず、精神疾患等を持つ保護者により支援が拒否されるケースへの対応について、長崎県大村市の事例のように、要対協のネットワークを活用した長期的な見守りや、支援介入のタイミングを見計らうための具体的な方策について伺います	こども局長
		本市において、ヤングケアラーへの専門的・継続的な支援を担うNPOや民間団体等との連携は計画されているのか。また、長崎県大村市は、モデル事業終了後も当該NPOへの事業委託（随契）を検討	こども局長

2枚中 / 1枚目

R2.5.15~

令和7年 第4回 定例会

番号	質 問 事 項 (必要に応じて細目に分ける)	質 問 要 旨 (具体的な質問内容)	答弁者職名
		していますが、本市として専門機関と連携し、持続可能な支援体制を構築するための具体的な計画について伺います。	
		ヤングケアラー支援には、これまでの本市の取り組み以上に、対象となる生活基盤に関係する団体や組織との連携と複合的な支援が必要となりますが、より連携するための取り組み方針について伺います。	市長
2	養護老人ホーム（あいせんハイム）の閉鎖と、今後の対応について	加須市における養護老人ホーム設置の経緯と、施設の意義について伺います。	福祉部長
		過去10年間の加須市による措置数と、その推移からこれまでの傾向について伺います。	福祉部長
		これまでの市内養護老人ホームへの、加須市による支援について伺います。	福祉部長
		これまでの数年に渡る養護老人ホームの継続要望に加え、改めて、要望書を施設関係者とともに副市長へ提出、令和6年第4回定例会においても、継続のための要望と代替案を提出しており、検討することでしたが、その後の検討結果について伺います。	福祉部長
		養護老人ホームが閉鎖となり、高齢者のセーフティネットがひとつ無くなることについて、埼玉県が閉鎖について施設の現状調査を行っております。閉鎖までのスケジュールと措置された市民の今後の生活の保障と、今後、措置される市民の対応について伺います。	福祉部長
		養護老人ホームが閉鎖後の施設利用について、地域のための新たな施設利用提案として、「こどもたちが地元で暮らし生活を営むことができるように、様々な支援を行える施設にしたい」と、関係者から伺っております。これらの取り組みについて、本市の支援について伺います。	市長